

【今週の注目疾患】

侵襲性肺炎球菌感染症

千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症は、2013年14週～52週に53例、2014年1～52週に66例、2015年1～33週に76例の届出があった。2015年は2014年の年間届出数を超えている。そこで2013年14週から2015年33週に届出された195例について発生状況をまとめた。

保健所別の届出数は、千葉市39例、海匠28例、安房23例、市川21例、松戸16例、船橋市15例、印旛12例、習志野9例、君津9例、市原7例、柏市7例、野田7例、山武1例、夷隅1例だった。

性別は、男性118例(60.5%)、女性77例(39.5%)だった(表1)。

年齢群別では、70代43例(22.1%)、5歳未満40例(20.5%)、60代37例(19.0%)、80代31例(15.9%)が多かった(表1)。

表1 2013年14週～2015年33週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 年別・性別・年齢群別届出数

	2013年14～52週		2014年		2015年1～33週		合計	
	届出数	%	届出数	%	届出数	%	届出数	%
性別								
男性	32	60.4	41	62.1	45	59.2	118	60.5
女性	21	39.6	25	37.9	31	40.8	77	39.5
年齢群								
5歳未満	18	34.0	11	16.7	11	14.5	40	20.5
5～9歳	1	1.9	0	0.0	1	1.3	2	1.0
10代	1	1.9	0	0.0	2	2.6	3	1.5
20代	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
30代	3	5.7	2	3.0	4	5.3	9	4.6
40代	1	1.9	4	6.1	4	5.3	9	4.6
50代	3	5.7	6	9.1	5	6.6	14	7.2
60代	8	15.1	16	24.2	13	17.1	37	19.0
70代	10	18.9	14	21.2	19	25.0	43	22.1
80代	8	15.1	11	16.7	12	15.8	31	15.9
90代	0	0.0	2	3.0	5	6.6	7	3.6
合計	53	100.0	66	100.0	76	100.0	195	100.0

診断月別届出数を図1に示す。2014年11月から2015年6月まで65歳以上の届出が月5例以上だった。

症状等は、発熱165例(84.6%)、菌血症123例(63.1%)、肺炎81例(41.5%)、咳65例(33.3%)、意識障害50例(25.6%)、髄膜炎35例(17.9%)、全身倦怠感28例(14.4%)、頭痛20例(10.3%)、項部硬直17例(8.7%)、嘔吐16例(8.2%)、痙攣10例(5.1%)、中耳炎7例(3.6%)、大泉門膨隆1例(0.5%)の記載があった(複数報告あり)。

肺炎球菌が分離・同定された検体は、血液180例、髄液27例だった(複数報告あり)。

図1 2013年14週～2015年33週千葉県の侵襲性肺炎球菌感染症 診断月別・年齢群別届出数 195例

